

1. LDK全景。大理石調のフローリングが、モダンな雰囲気を醸し出す。玄関側と庭に面した大きな窓が外部の風景を取り込み、空間を広く感じさせる。2. 外観夕景。室内から漏れる明かりとライトアップによって、ソリッドなデザインが際立つ。



**注** 住宅を建てるのは大変そう。けれども、万人受けを狙った建売ではなく個性のある建物に住みたい。そんなニーズに応えるのがクロリデザインの「THE HOUSE」だ。「THE HOUSE」はクロリデザインが注文住宅に代わる選択肢として提案するモデル住宅。設計、施工から外構、植栽、家具などの室内インテリアまで一貫して同社で行うのが特徴。すべてがコーディネートされた状態で生活を始めることができる。

「仕事も忙しく、一から注文住宅を建てようとは考えられなかったです。建売住宅を見て回ったもののピンと来る物件がなかった。そんなときにザ・ハウスを見つけた」とKさん夫妻は話す。注文住宅ではと思うほど外観に特徴があり、求めるクオリティとデザイン性も備えていた。「中も詳しく見て、納得した上ですぐ住めるというのは理想的でした」という。

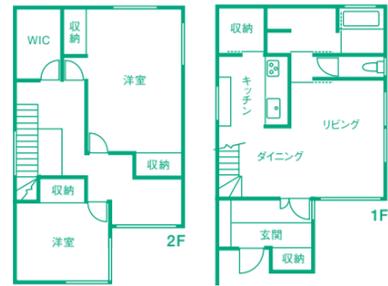
間口が10メートルほどで奥行のある土地の特徴を生かし、南側に大きな窓を設けたLDK。外光を取り入れ外からの視線は入らないよう、庭と塀を設けている。LDKをたっぷり取り、水回りは北側にコンパクトにまとめた間取りだ。「作り手としては、提案しただけで済むというメリットがありました。気に入って住んでいただけるとがうれしいです」と同社代表の池田

## 個性を打ち出した建売住宅 デザインと技術を生かして

設計・施工 Clorie Design Inc. | 秋田市/K邸



セメント調の外壁に木をあしらった外観。室内と同じグレー色でまとめ、直線多用したデザインがモダンとした印象を与える。



**家族構成**

夫(40代)、妻(40代)、長女(5歳)、次女(3歳)

設計・施工 株式会社 Clorie Design

竣工 2023/1 構造・工法 木造軸組工法

規模 2階建 敷地面積 161.36㎡ (48.81坪)

床面積(総) 112.68㎡ (34.01坪)

1階 54.45㎡ (16.43坪)、2階 58.23㎡ (17.57坪)

**主な設備・断熱性能等**

- 暖房の種類/エアコン (電気)、床暖房(ガス) ●給湯の種類/エコジョーズ(ガス) ●バス/TOTO サザナ ●トイレ/TOTO GG3 ●キッチン/TOTO ザクラッソ ●調理器具/IH ●窓仕様(主なもの)/樹脂サッシLow-Eペアガラス、樹脂サッシLow-Eトリプルガラス ●断熱材/グラスウール ●換気システム/第1種換気 ●耐震等級2 ●UA値/0.40W/mK

**主な仕上げ材**

- 床材(主なもの)/複合(合板)フローリング ●内壁材(主なもの)/ビニルクロス、輸入セメント化粧タイル、化粧パネル ●屋根材/ガルバリウム鋼板 ●外壁材/窯業系サイディング

**総工費・坪単価**

- 建築工事費の総額/3,000万円台(税別)
- 坪単価/85~90万円(税別)

**Clorie Design Inc.**



一級建築士 池田さん



二級建築士 仁部さん

K様が初めてご内覧いただいた日、メジャーで家具の確認をさせて頂いたり、エピソードが思い出ございます。私たちがご提案するTHE HOUSE tioを新居に選んでくださり、心からうれしく思っております。

<https://clorie.jp>  
☎0120-838-533

→ P.120



7



6



5

3. ダイニングからLDKを見る。キッチンとダイニングの間には金属の筋交いを設置して強度を確保しつつリビングへの視線が抜けるようにした。4. ダイニングとキッチンはグレーのセメントボードで統一し、天井高を下げ、落ち着いた雰囲気に仕上げた。間接照明できさまざまな空間演出ができる。5. モダンな雰囲気のスケルトン階段。階段側の壁もキッチンと同様グレーでまとめている。6. 玄関は窓を設置して視線の抜けと明るさを確保し、いっそう広々と感じる空間に。「帰ってきたときゆったりとした気分になれるように」との配慮からという。壁の額まであらかじめコーディネートされている。7. 「個室に木の家具を置くご家庭が多いので、合わせやすいように」という理由で、2階は木のフローリングを設置した。



3



4

「実際住んでみて、自分たちでは思っていたよりもありました」とKさん。妻のNさんは、人がすれ違える通路幅のあるキッチンとパントリーの使い勝手の良さが気に入っている。「おしゃれに見えるだけでなく、収納スペースも充分にあり住む人の利便性が考えられていると思います」と語った。もともと持っていた収納家具が空間になじんでいないところを見ると、好みの傾向が似ていたということもあるだろう。すぐに新しい住まいに慣れ、リビングで楽しそうに遊ぶ子どもたちを、Kさん夫妻は満足そうに眺めていた。